

占冠

# 議会広報

令和2年2月発行



今年1年元気にいきましょう(長生会新年会)

No.

161



≪ 議会広報や議事録全文は  
村ホームページでご覧になれます。 ≫

## 第5回定例会

- 占冠村選挙管理委員・補充員 決定
  - 北海道179市町村応援大使2020就任決定
- 故 山本敬介村議会議員を偲んで  
決算特別委員会

## 総務産業常任委員会報告・活動報告

- 道内所管事務調査
- 村内所管事務調査
- 各研修会報告

## 一般質問6議員

- 交通体系について
- JAふらの占冠出張所金融部門  
統廃合について
- 占冠中学校避難所設備と  
体調不良者への備えは
- ふるさと納税の現状と今後
- 住民の理解を得た公園整備を
- 案内板の拡充を
- 占冠-トマム間の移手段と  
避難所情報通信設備整備状況
- 役場庁舎の新築に向けた準備について
- 6月定例会での質問事項の進捗状況
- 一般廃棄物処理基本計画について

# ▶ 占冠村選挙管理委員・補充員 決定

# ▶ 北海道179市町村応援大使2020就任決定

令和元年第5回定例会は、12月12日・13日の2日間開催され、条例の一部改正や各会計補正予算などの審議が行われ、すべて原案どおり可決しました。また、6議員が一般質問で政策論議を展開しました。

(傍聴 12日27人 13日1人)

## 条例の制定・改正・廃止

● 会計年度任用職員制度導入に伴う占冠村総合計画委員会設置条例の制定（ほか1件）

○ 固定資産評価審査委員会委員の選任同意  
字中央 赤石 秀明氏

## 人事案件

● 公職選挙法の一部改正に伴う占冠村議会議員並に占冠村長選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正（ほか7件）

● 占冠村史編さん委員会設置条例等の廃止（5件の条例廃止）

○ 占冠村選挙管理委員・補充員  
任期満了（12月22日）に伴い、地方自治法の規定により、議会において委員及び補充員の選挙が行われ、議長の指名推薦により次の方々に決定しました。

### ・選挙管理委員

字占冠 山崎 正紀氏  
字中央 馬瀬戸笑子氏  
字中央 長瀬 弘侍氏  
字中央 菅原勇治郎氏

### ・補充員

字占冠 八木 靖子氏  
字中央 赤石 菊子氏  
字中央 窪田 敏雄氏  
字占冠 細谷 実佳氏

## 村長の行政報告

① 占冠地域森林整備推進協定に基づく取組内容

10月に共同土場を整備し、国有林材と村有林材の集積活用を始めました。11月には天然林モデル施業勉強会を開催しました。

対応できるものは速やかに改善し、予算措置が必要なものは新年度予算に計上するなど、より良い村づくりのための施策に力をつけたいと考えています。

② 占冠村防災訓練

9月28日、令和元年度防災訓練を実施し、村民34名、協力機関83名、合計117名が参加。職員間の情報伝達の方法、避難所設備、物資の充実など、今後の防災力の強化に努めます。

⑤ ふらの哺育・育成センター整備に関する確認書締結  
11月22日付で確認書を締結しました。今後も富良野地域の酪農振興に努めます。

③ トナム駐在所設置要望

11月11日、上川総合振興局長、富良野警察署長を訪問し、トナム駐在所の設置要望を行いました。上川総合振興局長からは、旭川方面本部長にも要望を伝え、実現可能な方向性を示しながら、地元の要望に応えたい旨の回答をいただきました。

⑥ 北海道179市町村応援大使2020  
11月24日に札幌ドームで行われた「ファンフェスティバル2019北海道179市町村応援大使2020抽選会」において、鶴岡慎也選手、堀瑞輝選手が2020シーズンの占冠村応援大使に就任することが決定しました。実行委員会等を立ち上げ、各種のイベントを企画・実施し、占冠村のPRやスポーツ振興に努めます。

⑦ 占冠保育所建設工事の進捗状況  
工事は概ね計画どおりに進んでおり、内覧会を令和2年3月28日と29日で行う予定です。開所式は、入園式と同日の4月3日を予定しています。

令和元年度 補正予算 ~第5回定例会~	
一般会計(第3号)	20万円増 総額 29億8,330万円⇒29億8,350万円
国民健康保険(第2号)	240万円増 総額 1億5,220万円⇒1億5,460万円
村立診療所(第3号)	歳出科目の組換
簡易水道(第3号)	80万円増 総額 1億1,490万円⇒1億1,570万円
介護保険(第2号)	10万円減 総額 1億1,320万円⇒1億1,310万円

④ 住民懇談会の開催  
11月14日から21日、村内6会場で住民懇談会を開催し、合計33名が参加しました。すぐに

# 故山本 敬介 村議会議員を偲んで

令和元年11月4日に52歳でご逝去された  
故山本議員に謹んで哀悼の意を表します



## 議 員

平成23年5月1日から3期連続  
8年と半年

## 議 会 役 職

- 1期目 議会広報特別委員長
- 2期目 議会選出監査委員
- 3期目 富良野広域連合議会議員  
議会運営委員長  
議会広報特別委員長

## 表 彰

令和元年5月28日  
上川町村等監査委員協議会表彰

## 過去の質問から

故山本議員は任期中の8年間と半年で、92件と多くの一般質問をしており、一部抜粋して過去を振り返ります。

### ○村の水害対策

(平成23年6月定例会初質問)  
3月11日に起きた東北関東大震災の現地へ行きました。村でも何ができるか考える必要があります。人命財産を守るのが行政と議会の第一義だと思います。

慮した改修を要望していくべきではないですか。

### ○トママ地区の定住対策

(平成27年6月定例会 2期目初質問)  
トママリゾートの集客は好調ですが、アルバイトの寮確保のため、社員が退去を求められています。現状の認識を伺います。

### ○一般ごみの拙速な有料化には反対

(平成30年6月定例会)  
ごみ減量化対策推進委員会の提言には、一般ごみを資源ごみよりも高い金額で有料化を検討とあります。考えを伺います。

### ○「人間ドック」の助成

(令和元年6月定例会 最後の質問)  
「人間ドック」の助成には「分かりやすさ」と「利便性」の二つの重要性があります。

### ○鶴川本流の落差工

(平成25年9月定例会)  
トママトンネル付近にある鶴川本流の落差工や下流部の頭首工の問題を解決しない限り、サクラマスが昔のように遡上することはあり得ません。環境に配



初当選した頃の山本議員

## 追悼の言葉

昨年11月4日、故山本敬介前議会運営委員長の突然のご逝去に、議員一同、悲しみと戸惑いを禁じ得ません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

故山本敬介議員は、平成23年に初当選され、占冠においては若い議員として注目を集められました。  
議選監査委員、農業委員、広報特別委員長、富良野広域連合議会議員など多くの役職を任せられ、一般質問なども防災関係、教育関係、さらには地域の問題を幅広く取り上げ、活発な議会活動をされておりました。また、商工・観光をはじめ、村民の皆様、議員はもちろんのこと、今後は後進の模範となるべく大切な人材であり、村全体においても期待されていただけに、大きな痛手であります。

この間、故山本議員は上川町村等監査委員協議会表彰を受賞されており、同僚議員としてまだまだ活躍していただきたかったと、誠に残念でなりません。

わが占冠村議会の発展をどうか見守っていてください。議員一同、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

占冠村議会議長 相川 繁治

# 決算特別委員会

【令和元年10月23日・25日】（傍聴 25日一人）

# 村の基金は前年度比 2億1,339万円の減額

○認定すべきと決定



大谷元江委員長

第4回議定会定例会において付託された認定第1号「平成30年度一般会計及び各特別会計決算について」は、10月23日と25日の審査結果により認定すべきものと決定されました。第5回議定会定例会で大谷委員長から報告され、本会議において、委員長報告のとおり認定されました。なお、監査委員より審査意見の報告がありました。

○監査委員審査意見（抜粋）

村の基金（貯金）総額は12億3,097万円となりました。

将来にわたる財政健全化に向けて、改善していくことを期待します。

今後の村政執行にあたり、住民がいつでも安心してこの村に暮らしていける行政サービスを提供していただきたい。

## 平成30年度 各会計決算状況

【万単位切り捨て】

会 計 別	歳 入 額	歳 出 額	差 引 金 額	
一 般 会 計	24億2,636万円	23億7,595万円	5,041万円	
特別会計	国民健康保険	1億4,199万円	1億4,009万円	190万円
	村立診療所	8,559万円	8,249万円	310万円
	簡易水道	1億552万円	1億234万円	318万円
	公共下水道	1億751万円	1億494万円	257万円
	介護保険	9,754万円	9,352万円	402万円
	後期高齢者	1,834万円	1,800万円	34万円
	歯科診療所	2,129万円	2,087万円	42万円

### 質疑

#### （一般会計）

（歳入）

**問** 住宅使用料の滞納繰越分収入済額35万2,575円の納入者の実人数、納入対策、滞納者の転出状況を伺います。

（小林委員）

**小林建設課長** 滞納者14名のうち7名の納入となつています。担当としては、督促状、電話催告、戸別訪問、分納相談を行つていきます。既に転出した方は6名います。

**問** ふるさと寄附金の収入額から返礼品にかつた経費を引いた村の収入額を伺います。また、村民がふるさと納税を他の自治体にするにより、村民税がいくらか減額になったか伺います。

（小林委員）

**三浦企画商工課長** ふるさと寄附金の収入額が1,036万円、返礼品、郵送料、広告料等で約385万円なので、実質的な村の収入は約

650万円です。

**多田総務課長** ふるさと寄附金に係る村民税の控除額は13件で28万5千円となっております。

**問** 奨学資金貸付金の納繰越分収入済額89万8千円の納入者の実人数と、外部委託によるものか伺います。

（小林委員）

**合田教育次長** 7名の納入となつています。そのうち3名が外部委託によるものです。

**問** 村民税、固定資産税の不納欠損状況を伺います。

（藤岡委員）

**多田課長** 個人村民税は3件、固定資産税は一般分4件、ヴィレッジ・タワー分で213件となつています。預金等の調査を行っていますが、差し押さえられる財産がない等の理由で時効となりました。徴収できるものを納入いただくという最善の努力を尽くします。

**再問** 悪質な者に対する対処は村独自で取り組んでいくのか伺います。

（藤岡委員）

**多田課長** 協力機関として上川総合振興局との徴収体制もありますので、活用しながら万全を期したいと思います。

(歳出)

**問** 農業振興費補助金、小規模土地改良と、電気牧柵の内容を伺います。  
(五十嵐委員)

**平岡農林課長** 小規模土地改良事業は3戸3件、補助金額62万1281円です。電気牧柵は1戸2件、4万118円です。

**問** 農業構造改善事業費委託料、二ニウキャンプ場の利用状況を伺います。(五十嵐委員)



**平岡課長** 営業日数は6月2日から10月20日までの141日間、利用人数は延べ3440人です。

**問** 林業費委託料、狩猟的価値発現による林業六次産業化推進事業委託の取組内容を伺います。  
(藤岡委員)

**根本林業振興室長** 地域商社設立、運営に向けた協議検討、広葉樹施業モデル構築、実証試験、

林業六次産業化の説明会の様子



検証業務、中核的人材育成プログラム等を実施しています。

**問** 林業費委託料、狩猟的価値発現による林業六次産業化推進事業の委託先と、人材育成プログラムの具体的内容を伺います。  
(五十嵐委員)

**根本室長** 東京に本社を置くマネジメント会社に委託しています。人材育成プログラムの内容は、森林調査の手法、木材流通、村内の木材製品の流通の可能性、伐採から製材までの一貫作業等の取組みを実施しています。

**再問** 委託先の事業体とは、村との意思統一や、事業の振興がされていないかと認識しています。村としての一定の判断や今後の林業の活性化、六次産業化をどうするのか伺います。  
(五十嵐委員)

**根本室長** 今後は単独で村内企業が関連の取組みを行い、村は引続きサポートをします。技術の研鑽、事業体の育成、事業量や雇用の確保等、長い目で見ていかなければならない部分もあります。今回の3年間の事業を生かしながら取り組みます。

**問** 教育費全体を通して予算に対しての不用額が多い理由を伺います。  
(下川委員)

**合田教育次長** 教育総務、小学校費で8目、社会教育、保健体育費で5目抱えています。必要な整理はしていますが、全体の目(※)が多いため、積み上げると教育費全体での多額の不用額となっています。

**※款項目節とは**  
予算の分類項目のこと。款は最大の分類で、項は款の細分類。目は項の細分類で、節は目の細分類となっています。

(全般)  
**問** 監査委員の意見書に公債費負担比率、経常収支比率が懸念されるとの報告がありました。村としてどのような対策を取るのか伺います。  
(藤岡委員)



**多田課長** 公債費負担比率が16・5%と前年度比1・5ポイント上昇しています。過疎債、臨財債の償還開始の影響もあり、今後もこの数字が継続するものと考えています。交付税で戻ってくるような有利な起債、過疎債等を使いながら数値を下げる努力をします。

経常収支比率も前年度比2・5ポイント上昇しています。社会保障費や施設管理費、償還金

等がかなり比重を占めており、財政の硬直化の原因となっています。保守委託やシステムに関する経費を見直しながら経常経費を抑える努力をしていきます。

**問** 一般会計での収入未済額が大きくなっています。不納欠損額を出さないための施策を伺います。  
(下川委員)



**多田課長** 不納欠損額はほぼ村税です。過去3年間では減少傾向ですが、公売等の努力をさせていただき、額を減らす施策を取っています。また、その他の料金等についても弁護士などの外部機関も取り入れ、未収がないように努力します。



意見書を提出

市民の声を国政の場に

○日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書

国民の生命・財産及び安心・安全な生活を守るため、2020年1月から3月の期間に道内で行う日米共同訓練の規模縮小とオスプレイの参加を中止することを要請する。

## 道内所管事務調査 (10月1日～2日)

### ①芽室町 議会改革

芽室町議会は、平成25年施行した「芽室町議会基本条例」の理念・規定に基づき議会活性化計画を策定し、町民意見交換会、議会モニター制度、広聴機能の強化、ICTを活用した議会運営を進めている。

当議会においては、傍聴者の減少等の課題解決を目指していくこと、また、若い世代との意



見交換会の場としてのCS議会の継続が必要である。

### ②釧路市音別町 特産品開発



平成3年に「ふき」を原料とした全国の唯一の和紙「富貴紙」が商品化された。その後、合併に伴う人口減少、振興公社の解散等により一度事業が休止となったが、平成27年度より「ふき紙普及促進事業」が開始され現在に至っている。

当村でも、六次産業化の取り組みにより効果を出している面もあるが、人材育成や生産・

販売体制に課題を抱えているため、今後の事業展開を検討願いたい。

### ③白糠町 ふるさと納税、小水力発電

平成27年度からふるさと納税事業を実施し、平成30年度の実績は、歳入32億円、歳出21億円、順位は全道4位と常に上位で推移している。要因は、人気の海産物が豊富であること、また、返礼品参加企業の生産能力が高いことがある。この事業成功により、コミュニティバス、



水素ガス貯蔵施設

## 村内所管事務調査 (10月30日)

調査は、村長ほか各担当者の同行により、現地説明を受ければながら実施した。

### ▼検討課題

#### ①占冠村小規模多機能型居宅介護施設利用状況調査

同居家族の負担軽減を図る等、住民の福祉向上に寄与した施設であるが、介護認定にとられず施設を利用できる場合もあるため、広い世代への見学会や説明会を開催する等の工夫が必要である。



#### ②交流促進施設双民館・占冠地域交流館・占冠村物産館利用状況調査

物産館の空きスペースの利用は条例上適切であるか、商業等への影響がないか等、慎重に検討願いたい。

テーマに沿った展示方法や魅力ある資料館になるよう、各種専門家の意見も取り入れ等の検討を願いたい。

施設ごとの資料が多く、それぞれの地区の歴史を感じさせるものになっているため、1ヶ所にまとめて展示することは、現段階では困難な状況といえるが、将来に向けての課題として検討願いたい。

双民館・占冠地域交流館は常時自由に入出りできない施設となっている。費用面、防犯面の関係もあると思うが、地域振興、教育効果等を考慮し今後の事業展開に期待する。



子育てサポート、家庭教育力  
フエ等の事業が行われ、地域活  
動に大きく寄与している。

また、平成27年度に環境省の  
地域連携・低炭素水素技術実  
証事業により、ダムに設置して  
いる小水力発電により水素を製  
造、それをトレーラー等で輸送  
し、町の施設で燃料電池として  
活用している実証実験を行って  
いた。

当村でも、ふるさと納税を実  
施しているが、さらに地域の  
魅力向上、集客につながる工夫  
を検討願いたい。また、エネ  
ルギー政策は、化石燃料だけで  
なく、環境に配慮した自然エネ  
ルギーの活用を取り進めている  
ので、地域の実情にあった政策  
をとり進めていただきたい。

#### ④土幌町 道の駅の取り組み

平成9年に旧道の駅「ピア21  
しほろ」が開業したが、施設  
老朽化や敷地の狭小等の課題が  
あった。平成29年度に移転、リ  
ニューアルオープンし、商工会  
を指定管理者とし、レストラン  
や物販販売をテナント事業者で  
運営している。

リニューアルオープン後、3  
年目で入込客が100万人を突  
破し、売上金も増加している。



新しい道の駅は、六次産業化、  
若者創造プロジェクト、交通結  
節点、高齢者支援、防災拠点の  
役割を担っており、地域の安心  
や魅力を発信する基地の機能を  
備えている。

当村の道の駅は、老朽化、ト  
イレ、駐車場等の課題を抱えて  
いると考えるため、改善に向け  
て努力願いたい。

#### ⑤鹿追町 バイオガストラ ントの活用状況

乳牛ふん尿はもとより、生ゴ  
ミや下水道汚泥を適正処理する  
とともに、バイオマス資源とし  
て有効活用を図るため、バイオ

マスプラントを平成19年度より  
稼働させた。処理過程で生産さ  
れる「消化液」は環境に優しい  
有機肥料として臭気改善と地力  
向上に寄与、バイオガスからは  
電気と熱を生産し、再生可能エ  
ネルギーとして有効活用を図っ  
ている。また、余剰熱を活用し  
た、チヨウザメ飼育、マンゴー  
栽培等の事業を展開し、地域経  
済の活性化も担っている。

当村においても、地域の実情  
にあった政策をとり進めていた  
だきたい。



## 活動報告

### ○上川・留萌管内女性議員 研修会(10月8日～9日)

和寒町町民センターで開催  
され、大谷議員、下川議員が  
出席しました。参議院議員の  
徳永エリさんから「化学物質  
過敏症、香害の現状と課題は」  
と題して講演がありました。

### ○富良野沿線議員研修会

(10月11日)

占冠村コミュニティプラザ  
で開催され、7名の議員が出  
席しました。株式会社ローカル  
ファースト研究所代表取締役  
の関幸子さんから「人口減少  
時代の議会の役割・気候の厳  
しさの中での地域経営」と題  
して講演がありました。



### ○上川管内議員研修会

(10月29日)

美瑛町町民センターで開催  
され、6名の議員が出席しま  
した。社会福祉法人江差福祉  
会理事長の樋口英俊さんから  
「障がい者の就労と高い作業  
工賃確保を目指して」と題し、  
また、北海道大学客員教授の  
久田徳二さんから「グローバ  
リゼーションの新时代」と題  
し、それぞれ講演がしまし  
た。

## 清流大学25人が傍聴

第5回定例会1日目(12月12日)は、清流大学のみなさん  
25人が傍聴にお越しいただきました。

みなさん、真剣なまなざしで議論を見守られ、熱心にメモを  
取られる姿もありました。

議員も大勢の視線を背中に受けての一般質問は緊張感があ  
り、身が引き締まる思いでした。

大谷 元江 議員



## ▷交通体系について

## ▷JAふらのの占冠出張所金融部門統廃合について

### 1 交通体系について

**問** 高齢者の運転免許返納者が増加している中で、対応策をどのように考えているか伺います。

**田中村長** 令和元年11月末現在の免許返納者は2名です。現状においては、村内にあるさまざまな交通体系の中で対応していると考えています。

**問** 巡回バスの経路は中央地区でも限定されていますが、双珠別地区・占冠地区は予約型であり、不便を感じます。予約ではなく巡回バスの範囲を広げることとはできないのか伺います。

**田中村長** 運行経路以外での乗車希望の方も連絡をいただければ乗車可能です。運行に際しては、利用者のニーズに合わせて、占冠第二方面についても柔軟に対応していきます。

**問** 巡回バスの運行を週2回から週3回へと増便できないのか伺います。

**田中村長** 村内の公共交通機関は、村営バス、むらびと交通村内運行、巡回バス、過疎地有償運送、日高バスの5種類運行されていますので、有効利用して

いただきたいと思えます。巡回バスは現行の運行体制を継続しながら要望に依る体制を整えていきます。



巡回バス

**問** 日高バス利用に関して、巡回バスを利用すると村内は無料で乗車が可能ですが、日高バスを利用すると料金が発生します。半額補助、もしくは全額補助ができないのか伺います。

**田中村長** 占冠村民の利用状況は限られたものと推察していますが、免許返納による高齢者の利用も増加するものと考えられます。日高町とも連絡を密にしながら実態の把握に努めていきますが、助成については今のところ考えていません。

訪問員派遣事業、保健福祉

事業を利用している方を対象に聞き取り調査を行い、どのような方策があるかも含めて検討したいと思えます。

### 2 JAふらのの占冠出張所金融部門統廃合について

**問** JAふらのの占冠出張所金融部門が令和3年2月末に統廃合されることになっています。春に統廃合反対の署名運動を行いました。令和2年度の総代会において結果が出ると聞いています。これまでの間、どのように取り組まれたのか伺います。

**田中村長** 平成30年11月26日に、農業協同組合代表理事組合長から、令和3年2月末で金融部門を南富良野支所に統合、占冠出張所の窓口は廃止、ATMは未設置、スタンド・資料は従来どおり行う内容の中期計画を進めたいという説明がありました。

令和元年4月5日に占冠出張所の存続を求めた246筆に及ぶ署名と、存続要望書をふらの農協組合長に手交しました。

11月29日に農協の組合員を対象とした地域懇談会が開催され、内容を関係者に聞き取りました。懇談会の中では、占冠出張所の経営にかかる具体的な

数字、赤字の内容や具体的な対応などが示されなかったことから、村としても関係団体、関係者と連携を図りながら統合による影響と、その対策について意見反映をしていきたいと考えています。

**問** JAふらのの占冠出張所金融部門を利用している正組合員以外の方に対しての説明会を、村として要請することはできないのか伺います。

**田中村長** 金融・共済を利用する准組合員も多く、説明がないとの不満が上がっている旨は伝えていますが、再度要請をしていきます。



JAふらのの占冠出張所

藤岡 幸次 議員



# 占冠中学校避難所設備と 体調不良者への備えは

## ふるさと納税の現状と今後

### 1 占冠中学校避難所設備と 体調不良者への備えは

**問** 自然災害発生時、占冠中学校避難所には多目的トイレがないため、乳幼児を抱えたお母さんや車いす利用者には大変不便です。また、体調不良者発生に対する備えについて考えを伺います。



避難所の救護所

**田中村長** 占冠中学校内には現在、トイレが3カ所設置されていますが、多目的トイレはありません。災害時には上下水道の途絶も考えられるため、仮設トイレの使用が有効だと思いま

す。設備が整うまでの間は、仮設トイレで対応していきます。

また、多目的トイレの必要性は認識していますので、新年度に検討していきたいと考えています。

体調不良者に対する備えは、平時から服薬管理や予防対策について啓発を行うと共に、避難所内に救護所を設置し、医師、診療所職員、保健師と連携しながら対応していきます。

### 2 ふるさと納税の 現状と今後

**問** ふるさと納税寄付金額は平成28年度1912万円をピークに年々減少しており、原因は返礼品と思われまます。返礼品開発についての考えを伺います。

**田中村長** ふるさと納税寄付金額減少の主な要因は、全国的に実施する市町村が増加し、熾烈な競争環境になったことです。

現在、村ではメープルシロップ、ゆり根、はちみつセットやエゾシカ肉など19品目のメニューを用意していますが、原材料の主要な部分が占冠村で生産されていないければならない規制があるため、法令を順守しながら魅力あるメニューを検討していきたいと考えています。

**問** 目標金額を一億円と定めて3段階での取り組みをする必要があると思います。第1段階、食品を中心とした見直しと品目の追加。第2段階、食品以外の手づくり品の開発。

第3段階、アルコールを含めた飲料品の開発に取り組むべきです。

ウインナー、チーズ、アイスクリーム、みそ等の材料と設備は村内にあるため、取り組む考えはないか伺います。

**田中村長** ふるさと納税の返礼品の魅力化は、評価を得るものを作ることが大変だと考えています。ニーズに合った商品づくりを勉強しながら、現在リゾートのシーズン券が主要となっている現状を生かしつつ、環境整備を進めたいと思います。

**問** ふるさと納税は各自自治体の財源の強化・活性化を目的に始まっています。占冠村の強みとして、トマムリゾートのリフトシーズン券が寄附のベースと考えられますので、強みのあるうちに返礼品の品目、パッケージ、デザインの再検討をされてはどうか、考えを伺います。

**田中村長** ふるさと納税制度をどう生かして村の財政に貢献できるのかということを含めて、担当者、生産者、村内事業者等といろいろと試行錯誤しながら、少しでもふるさと納税に活用できる商品作り、今後も努力していきたいと思えます。



返礼品で人気のとうもろこし



## ▷住民の理解を得た公園整備を

## ▷案内板の拡充を



森エリアの  
ロープ遊具

### 1 トナム地区公園整備

**問** トナム地区の公園は、トナム地区住民の要望を受け、平成28年度当初予算で測量設計委託料を計上しましたが、住民の議論不足ということで、再度住民の意見が反映された計画を策定すべきとなりました。基本計画は、3回のワークショップでの住民意見をもとに策定され、住民参加・活動による整備や管理等が議論されました。

平成28年度以降は、「ミナ・トナムエリア」「幼児遊園エリア」「森エリア」それぞれの特性を生かした公園整備が進められており、令和元年までに約682万円が使われています。

**田中村長** 今後とも公園整備が必要と思いますが、村民やトナム地区住民の理解と支援をいただくためには、公園整備の見直しと必要予算を明らかにすることが大切です。村長の考えを伺います。

**田中村長** 基本計画の考えを持ちながら住民の皆様の協力を得て作りこんでいく公園です。現状では長期間の見直しを立てることは難しく、今後は、ワークショップなどを通してもう少し先を見据えた検討を行い、ある程度の予算の規模を把握しながら皆で作りに上げる公園として進めていきます。

**問** この間の取組み経過を住民に知らせることが不足していると思いますが、考えを伺います。

**田中村長** 本公園は、ミナ・トナムを中核施設として見守りと遊びを行える公園です。運営・管理も住民が中心となって主体的に行い、必要に応じて村が支援するというところで確認しています。広報占冠や村ホームページで情報公開を進めていきます。

### 2 案内板の拡充を

**問** 村の案内板は、診療所や火葬場などで一部設置されていますが、小さくて分かりづらく、多くの施設の案内板がないのが実態です。他の自治体では、特徴ある案内板が設置されています。村でも例えば、「しむかっぴー」を付した統一性のある看板を作成し、設置すべきと思いますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** 統一性のある占冠ならではの看板については、庁内で再度方向性について検討していきます。

**問** 11月20日に開催されたCS議会（コミュニティ・スクール議会）で占冠中学校の生徒から多言語（英語・中国語・韓国語等）で書かれた避難場所の案内の看板を設置してほしいとの提

言がありました。多くの外国人が占冠村を通過・滞在したり、働いています。この人たちの命を守るためにも多言語で書かれた避難場所の案内板は必要です。村長の考えを伺います。



診療所の案内板

**田中村長** 外国人への避難誘導は、国土交通省がガイドラインを定めていまして、日本語と英語の併記を基本ルールとし、見た目の分かりやすさを重視した絵文字と絵言葉が有効とされています。外国人でも避難場所や自分の位置が分かるような表示をさまざまなお知らせをしています。



# ▷ 占冠一トマム間の移動手段と 避難所情報通信設備整備状況



村営バス

### 1 富良野線2便への接続

**問** 富良野に行くためのバスは2便への接続が利用者にとって現実的かと考えますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** この接続車両を運行してから、まだ1年を経過していないため、利用状況を考慮し、判断したいと考えています。2便への接続のニーズが多いのであれば変更を検討したいと考えています。

### 2 短期型住民の交通手段と先を見通した交通手段

**問** トマム地区では短期型の住民や車を持たない方が多いので、トマム地区から外に出るた

めの交通手段に困っています。そのため、曜日や限定的な時間に限らず、村内の移動が可能になることが村内の活性化につながるのではと考えます。また、これからの公共交通機関は、先を見通した交通手段の整備・変更が必要と思いますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** トマム地区における短期型の住民の皆様は、季節的な変動も大きく、また、リゾート関連企業の従業員でもあることから、社員を雇用する会社などとも交通の確保について協議したいと考えています。先を見通した交通手段の整備が必要であるとのこと指摘ですが、大幅な体制の変更には慎重な検討が必要であると考えています。今後も地域の特性、実情、ニーズに対応できる交通の確保に向けて、村としても検討は続けたいと思います。

### 3 避難所情報通信整備

**問** 避難所内での無料Wi-Fiを整備するものとしていますが、進捗状況と公共機関のフリーWi-Fiとしても利用が可能になるのかを伺います。

**田中村長** 今年度実施する避難

所Wi-Fi整備工事は、過日に施工業者と契約を締結し、施工場所であるコミュニティプラザで光回線敷設のための現地調査も終わっています。本工事は3月までを工期とし、来年度の4月から使用することができるよう作業を進めています。本事業は、国からの緊急防災減災事業債を財源として実施している事業で、指定避難場所である公共施設において、避難者が災害情報等を容易に入手することが可能となるようWi-Fiを整備するものです。平常時は、セキュリティ対策上、メールアドレスやSNS等での個人認証を行うことで使用することが可能になります。避難所を開設した場合は、個人認証の手続きを必要とせずにWi-Fiに接続することが可能となる施設です。

**問** 今後、他の避難所になり得る場所にも災害Wi-Fiを付ける予定はあるのか伺います。

**田中村長** 今後においても、村内の指定避難所での事業実施については、事業の採択要件と財源の確保を含めて検討したいと考えています。

## 委員会構成が 変わりました

故山本敬介議員のご逝去のため、委員会構成が変更となりました。

#### ● 総務産業常任委員会

- 委員長 五十嵐正雄
- 副委員長 藤岡 幸次
- 委員 大谷 元江
- 委員 下川 園子
- 委員 小林 潤
- 委員 児玉 眞澄

#### ● 議会運営委員会

- 委員長 小林 潤
- 副委員長 下川 園子
- 委員 児玉 眞澄

#### ● 議会広報特別委員会(前期)

- 委員長 藤岡 幸次
- 副委員長 下川 園子
- 委員 大谷 元江
- 委員 五十嵐正雄

#### ● 富良野広域連合議会議員

- 相川 繁治
- 下川 園子
- 小林 潤

#### ● 議会選出監査委員

- 児玉 眞澄

小林 潤 議員



# ▷ 役場庁舎の新築に向けた準備について

## 1 総合センター改修事業 設計委託業務の結果

**問** 6月定例会の補正予算において、設計委託業務の内容は、雨漏り防水工事及びトイレのバリアフリー化が可能か検討するための補正ということでした。結果を伺います。

**田中村長** 防水工事の概算費用が2千万円を超え、トイレのバリアフリー化は面積、構造上の両面から、改修が難しい状況で



トイレのバリアフリー化は難しい状況

す。新たに増設する場合には、1階部分への設置となると思われます。今後の契約において詳細を再度検討し、年度内に方向性を出したいと考えています。

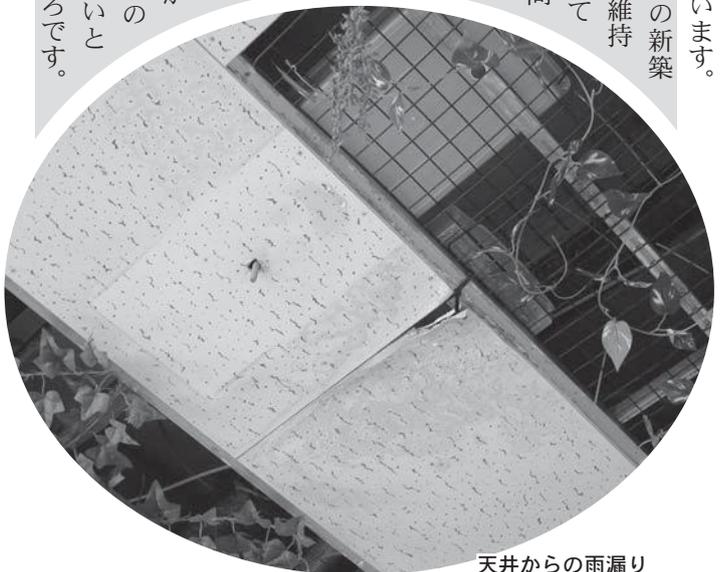
## 2 役場庁舎の新築は

**問** 次に、役場庁舎の新築に向けた準備について伺います。現在の役場庁舎は、築約48年を経過しています。耐震強度の問題、天井からの雨漏り、ボイラー本体及び暖房に係る配管の劣化等、トイレも含めて多くの課題があると感じて

います。限られた財源では村民の福祉向上のための施策が最優先であり、庁舎建設のため、住民サービスが低下することは避けなければなりません。庁舎建設基金条例を制定し、計画的な積立について村長はどのように考

えているのか伺います。  
**田中村長** 庁舎の新築は、公共施設等維持管理基金をもって一定の準備期間を置いて、準備金を整えた中で作業をしていきます。村民の福祉向上のための施策を最優先に考え、小規模改修等で対応しながら計画的な基金の積立を実施したいと考えているところです。

**問** 毎年、必要に応じて庁舎の修繕を行っても、いずれ役場庁舎建て替えの時期は来ると思います。基金の積立の額等を含めて、もう少し詳しく伺います。



天井からの雨漏り

**田中村長** 公共施設等維持管理基金は、既に設置時で5千万円をもって設立し、総合センターの改修費を賄うことを基本に考えたものです。新築は当面難しいという判断をしまして、耐震補強と併せてさまざまな改修を部分的に行っています。

**問** 今後、庁舎建設基金は考えていかなければならないと思いますが、新築する時期が定まっていらない状況の中で、現段階では庁舎建設専用の基金は考えていないということでしょうか。

**田中村長** 公共施設等維持管理基金をもって総合センターの維持・補修・管理を行っていくという考え方ですので、専門の庁舎建替基金的なものは考えていません。

児玉 眞澄 議員



## ▷6月定例会での質問事項の進捗状況

### ▷一般廃棄物処理基本計画について

#### 1 6月定例会での質問事項の進捗状況

**問** 宿泊税の導入については先進地の状況を見据え、庁内で慎重に検討することとしたが、その後の進捗状況を伺います。

**田中村長** 宿泊税には、企画商工課と総務課が先進事例を参考としながら連携して取り組んでおり、制度設計と導入にあたっては税制度等に関する専門的な知識が必要ですので、北海道と連携を取りながら検討を進めたいと考えています。

**問** 道の駅の改修・修繕は指定管理者と協議の上で進めるとのことでしたが、男子和式トイレははまだ改善されていません。理由を伺います。

**田中村長** 新年度で予算を計上し、洋式化したいと考えています。

**問** 道の駅で花畑としている民地の買収については、積極的に交渉にあたるということでしたが、交渉の状況について伺います。

**田中村長** 取得が望ましい用地であるとの認識は変わっていません。

せんが、具体的な進展はありません。今後も慎重かつ適切に取り組めたいと考えています。

**問** 道の駅において暴風雪時等の、特に夜間における道路利用者への一時避難所としての防災対策について考えを伺います。

**田中村長** 開発局と道の駅との防災拠点化に関する締結には、道の駅を村の防災計画に避難所として明記する必要がある、現在その作業を進めています。また、災害時には観光協会と連携し、村の防災器材、備品を提供して避難者の支援を行います。

#### 2 一般廃棄物処理基本計画について

**問** 新最終処分場の容積は、嵩上げを行い、9千m<sup>3</sup>の容量とされていますが、過去のデータから見ると小規模であり、計画年数を維持できるのか。また、リゾートの増築を踏まえた余裕のある容積なのか伺います。

**田中村長** この積算にあたっては、過去十年間の埋め立てごみ実績重量をもとに推計したものです。リゾートのごみ排出実績が増加しており、注視する必要があります。なお、法律により処分場の埋め立て期間は、最大15年程度ですので、余裕高をもった建設は難しいということです。

計画において、計量施設は不可欠とされています。トラックスケールの早期設置について考えを伺います。

**田中村長** 早期設置の必要性は感じていますが、導入資金の手当てがされていますので、令和3年の嵩上げによる延命化に併せて整備したいと思えます。

**問** 将来、新処分場も満杯になることから焼却・破碎といった中間処理による延命化も必要と思えますが、考えを伺います。

**田中村長** 中間処理施設の建設は村単独では困難ですので、広域分担処理の中で中間処理ができるように広域で協議を進めたいと考えています。



嵩上げ予定の最終処分場

**問** 一般ごみの有料化実施に向けての今後の取組み、特に、リゾートのごみ有料化について考えを伺います。

**田中村長** 有料化にはごみの分別に対する住民の意識改革が必要であり、今年度作成予定の分別ハンドブックの中で理解を求めていきます。また、リゾートのごみの有料化は、現状検討していませんが、検討要素はあると感じています。

# 議員の主なうごき

令和元年9月定例会終了後から令和元年12月定例会まで

- |   |   |
|---|---|
| 9月 11日(水) 広報特別委員会①(各委員)                                 | 23日(水) アスペンサヨナラパーティ(正副議長)                     |
| 13日(金) 合同金婚式及び敬老会(各議員)                                  | 29日(火) 上川管内町村議会議員研修会(美瑛町-各議員)                 |
| 20日(金) 令和元年度秋の全国交通安全運動街頭啓発(各議員)                         | 30日(水) 総務産業常任委員会村内所管事務調査(各委員)                 |
| 28日(土) 令和元年度防災訓練(各議員)                                   | 11月 2日~3日 占冠村総合文化祭(各議員)                       |
| 29日(日) 占冠中央小学校学芸会(各議員)                                  | 7日~8日 富良野地方自衛隊協力会中央要望(東京都-副議長)                |
| 30日(月) 広報特別委員会②(各委員)                                    | 9日(土) 故山本敬介議員通夜(各議員)                          |
| 10月 1日~2日 総務産業常任委員会道内所管事務調査(芽室町、釧路市音別町、白糠町、土幌町、鹿追町-各委員) | 10日(日) 故山本敬介議員告別式(各議員)                        |
| 5日(土) 令和元年度占冠消防秋季演習・懇談会(各議員)                            | 11日(月) 令和元年度冬の交通安全運動街頭啓発(各議員)                 |
| 6日(日) 紅葉まつり(各議員)  | 12日(火) 上川管内町村議会臨時総会(東京都-副議長)                  |
| 8日~9日 上川・留萌管内女性議員研修会(和寒町-大谷議員、下川議員)                     | 13日(水) 第63回町村議会議長全国大会(東京都-副議長)                |
| 9日(水) 富良野沿線市町村議会議長会定例会(秋期)議会議長(中富良野町-正副議長)              | 14日~16日 令和元年度上川町村議会議長会現地研修会(秋田県、岩手県-副議長)      |
| 10日(木) 広報特別委員会③(各委員)                                    | 20日(水) 令和元年第2回占冠村コミュニティ・スクール議会(各議員)           |
| 11日(金) 富良野沿線市町村議会議員研修会(占冠村-各議員)                         | 25日(月) 総務産業常任委員会(各委員)議会運営委員会(各委員)広報特別委員会(各委員) |
| 14日(月) 旭日小綬章 能登芳昭様の受賞を祝う会(富良野市-議長)                      | 12月 3日(火) 陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会(上富良野町-議長)    |
| 15日(火) 富良野圏域における河川整備促進に関する要望活動(旭川市-副議長)                 | 4日(水) 議会運営委員会(各委員)                            |
| かみかわ中南部の未来に繋がるみちづくりフォーラム(富良野市-副議長)                      | <b>【富良野広域連合関係】</b>                            |
| 16日(水) アスペンウェルカムパーティ(副議長)                               | 10月 10日(木) 消防勉強会(相川議員、小林議員、下川議員)              |
| 18日(金) 留寿都村議会行政視察来村(正副議長)                               | 15日(火) 議会運営委員会(富良野市-相川議員、小林議員)                |
| 23日~25日 決算特別委員会(各委員)                                    | 21日(月) 議会全員協議会、第2回定例会(富良野市-相川議員、小林議員、下川議員)    |

## 議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



相川議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の  
予定

3月定例会 → 3月 5日(木)・6日(金)・9日(月)・11日(水)  
 予算特別委員会 → 3月10日(火)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

## 編集 後記

年号が「令和」となり、なごやかに過ごすことができるのかと思いきや、地震や台風などの自然災害が日本中に吹き荒れました。10月の台風19号は多大な被害をもたらしました。これも温暖化によるものかと危惧するところですし、私たちはこれからの人たちのためにも、16歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんには及ばないかもしれませんが、環境問題には取り組んでいかなければならないと思っています。11月には大切な仲間を見送るという出来事もありました。

人生、何が起るかわかりません。私たちは、安心、安全、そして快適に暮らすために、一日一日を大切に過ごす努力をしてゆきましよう。(大谷)

### ▼議会広報特別委員会(前期)

委員長	藤岡幸次
副委員長	下川園子
委員	大谷元江
委員	五十嵐正雄

### 広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただきます。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

発行：占冠村議会

責任者・編集：議会広報特別委員会

イラスト：清水大夢

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>